

機能強化計画の進捗状況(要約)

1.平成15年4月から平成16年9月までの全体的な進捗状況及びそれに対する評価

全体的な進捗状況は、アクションプログラム委員会を毎月1回開催し、実施計画表を作成のうえ管理を行っており、創業・新事業支援担当者および経営支援チームの設置、拡充を図ったほか、取引先の経営改善支援の推進、企業信用格付対象先の拡大、無担保融資商品の発売、企業信用格付に基づく信用格付別基準金利表の制定など、機能強化計画どおりの進捗状況でありました。

2.平成16年4月から平成16年9月までの全体的な進捗状況及びそれに対する評価

「 .中小企業金融の再生に向けた取組み」については、 経営支援チームを4名から5名に増員し、集中的に取引先の経営改善を推進、経営改善計画書の策定支援を実施しました。 企業信用格付は、格付対象を拡大し、格付を実施いたしました。 無担保融資商品「V500」、「V2000」、「しんきんクイックローン」の商品を発売しました。 各種研修会や業界主催の情報交換会等に出席し、人材育成やノウハウの蓄積にも取り組みました。

「 .金融機関の健全性の確保、収益性の向上に向けた取組み」については、 資産査定及び信用リスク管理面で、当金庫担保評価の検証を行ない、過去の処分実績と照合し、妥当性を確認いたしました。 自己査定と企業信用格付の整合性も確認いたしました。 企業信用格付に基づく信用格付別基準金利表を作成し、企業信用格付結果と貸出金利をリンクさせ毎月の収益管理の強化に努めました。

3. アクションプログラムに基づく個別項目の計画の進捗状況（別紙様式1）

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月 ~ 16 年 9 月	16 年 4 月 ~ 16 年 9 月	
・ 中小企業金融の再生に向けた取組み						
1. 創業・新事業支援機能等の強化						
(1)種別担当者の配置等融資審査態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・業界主催の集合研修に出席する。 ・事業計画の的確性の把握と事後モニタリングを実施する。 ・外部講師による目利き研修を実施する。 ・創業・新事業支援強化のために融資部内に創業・新事業支援専担者を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント会社による目利き研修の実施。 ・営業店融資担当役席者の審査能力のボトムアップを目的に融資部でのトレーニング研修の実施。 ・創業・新事業支援専担者 2 名を設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業界主催の集合研修への出席。 ・融資部でのトレーニング研修の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業支援専担者 2 名を設置。 ・「創業・新事業支援業務取扱要領」を制定。 ・コンサルタント会社による目利き研修を実施。 ・審査能力の向上を図るため、融資部でのトレーニング研修を実施。 ・コンサルタント会社主催の再生支援と目利き研修に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 16 年度創業・新事業支援専担者を 2 名任命。 ・審査能力の向上を図るため、融資部でトレーニング研修を実施。 ・全国信用金庫協会主催「目利き力養成講座」研修に参加。 	
(3)産学官とのネットワークの構築・活用や日本政策投資銀行との連携。「産業クラスターサポート会議」への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫主催の日本政策投資銀行の新潟県情報交換会に出席する。 ・長岡技術科学大学との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫主催の日本政策投資銀行の新潟県情報交換会に出席。 ・長岡技術科学大学との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫主催の日本政策投資銀行の新潟県情報交換会に出席。 ・長岡技術科学大学との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫主催の日本政策投資銀行の新潟県情報交換会に出席。 ・関東財務局主催の「地域経済再生シンポジウム」に出席。 ・(財)にいがた産業創造機構と情報交換を実施。 ・長岡技術科学大学特別記念講演会に出席。 ・長岡技術科学大学主催の新春トーク「産学官連携ルネサンス」に出席。 ・関東甲信越静岡地区産業クラスターサポート金融会議に出席。 ・信金中央金庫主催の日本政策投資銀行との情報交換会に出席。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政策投資銀行主催の第 2 回地域経済再生ワークショップに出席。 ・中小企業金融公庫主催の情報交換会に出席。 	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月 ~ 16 年 9 月	16 年 4 月 ~ 16 年 9 月	
(4)ベンチャー企業向け業務に係る、日本政策投資銀行、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫等との情報共有、協調投融资等連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家に対し県・市・信用保証協会等の連携による制度融資の活用を図る。 ・日本政策投資銀行、中小企業金融公庫、国民生活金融公庫と情報交換。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫主催の日本政策投資銀行等の情報交換会に出席。 ・中小企業金融公庫、国民生活金融公庫の代理店会議に出席。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫主催の日本政策投資銀行等の情報交換会に出席。 ・中小企業金融公庫、国民生活金融公庫の代理店会議に出席。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫主催の日本政策投資銀行新潟県情報交換会に出席。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政策投資銀行主催の第2回地域経済再生ワークショップに出席。 ・中小企業金融公庫主催の情報交換会に出席。 	
(5)中小企業支援センターの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・にいがた産業創造機構と情報交換を図る。 ・にいがた産業創造機構と連携し、事業者を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・にいがた産業創造機構を訪問。 ・当金庫の景況調査先に情報を紹介。 	<ul style="list-style-type: none"> ・にいがた産業創造機構を訪問。 ・当金庫の景況調査先に情報を紹介。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)にいがた産業創造機構と情報交換を実施。 ・当金庫の業種別景況調査先に(財)にいがた産業創造機構の機能等を紹介。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)にいがた産業創造機構の機能等を営業店に紹介。 	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月 ~ 16 年 9 月	16 年 4 月 ~ 16 年 9 月	
2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化						
(1)経営情報やビジネス・マッチング情報を提供する仕組みの整備	<ul style="list-style-type: none"> 各相談室について、顧客ごとに直接PRする。 長岡しんきんビジネススクラブの会員の増強、開拓活動情報提供ツールとしての利用促進の強化、ビジネス・マッチングを目的としたニーズカプセルの利用促進と交流会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な支援活動として情報提供の実施。 ビジネス・マッチングを重視した交流会の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な支援活動として情報提供の実施。 交流会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 「しんきん経営情報」誌を配布。 長岡しんきんビジネススクラブ開拓活動情報提供ツールビジネスレポートを提供。 ビジネス・マッチングを重視した交流会を検討。 長岡しんきんビジネススクラブ講演会を開催。 長岡しんきんビジネススクラブ交流会を開催。 「中小企業景況レポート」(信金中央金庫)を配布。 ビジネス・マッチング「ニーズカプセル」に掲載。 「リレーションシップバンキング・アクションプログラムの対応について」を発信。 「長岡しんきん業種別景況レポート」を配布。 関東信用金庫協会主催の「リレーションシップバンキングの機能強化計画」に関するフォローアップ勉強会に出席。 	<ul style="list-style-type: none"> 「しんきん経営情報」誌を配布。 長岡しんきんビジネススクラブ開拓活動情報提供ツールビジネスレポートを提供。 ビジネスマッチング「ニーズカプセル」に掲載。 「中小企業景況レポート」(信金中央金庫)を配布。 「長岡しんきん業種別景況レポート」を配布。 	
(3)要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表	別紙様式 3 2					

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月 ~ 16 年 9 月	16 年 4 月 ~ 16 年 9 月	
3. 早期事業再生に向けた積極的取組み						
(1) 中小企業の過剰債務構造の解消・再生の取組み。「早期事業再生ガイドライン」の趣旨を踏まえた事業再生への早期着手	・「新潟県中小企業再生支援協議会」に出席し、活用を図る。	・「新潟県中小企業再生支援協議会」に出席、活用。	・「新潟県中小企業再生支援協議会」に出席、活用。	・(財)にいがた産業創造機構(新潟県中小企業再生支援協議会)と情報交換を実施。		
(2) 地域の中小企業を対象とした企業再生ファンドの組成の取組み	・にいがた産業創造機構と情報交換を図る。 ・日本政策投資銀行と情報交換を図る。 ・業界主催の研修会に出席する。	・にいがた産業創造機構と情報交換。 ・日本政策投資銀行と情報交換。 ・業界主催の研修会に出席。	・にいがた産業創造機構と情報交換。 ・日本政策投資銀行と情報交換。 ・業界主催の研修会に出席。	・日本政策投資銀行との情報交換会に出席。 ・(財)にいがた産業創造機構(新潟県中小企業再生支援協議会)と情報交換を実施。	・日本政策投資銀行主催の第2回地域経済再生ワークショップに出席。	
(3) デット・エクイティ・スワップ、DIPファイナンス等の活用	・これら資金対応時には信金中央金庫との連携が不可欠であり、信金中央金庫との情報交換や勉強会を実施する。	・信金中央金庫担当者を講師とする勉強会の実施。		・関東信用金庫協会主催「民事再生法の概要と金融機関実務講座」に出席。 ・信金中央金庫担当者を講師とする勉強会を実施。		
(4) 「中小企業再生型信託スキーム」等、RCC信託機能の活用	・信金中央金庫担当者による勉強会を実施するなどして、債権流動化のための知識の習得を図る。	・信金中央金庫担当者を講師とする勉強会の実施。		・全国信用金庫協会主催「RCCの企業再生機能に関する説明会」に出席。 ・信金中央金庫担当者を講師とする勉強会を実施。		

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月 ~ 16 年 9 月	16 年 4 月 ~ 16 年 9 月	
(5)産業再生機構の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県中小企業再生支援協議会」との連携を図る。 ・経営支援チームを窓口として企業再生を目指す取引先があれば支援協議会に紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新潟県中小企業再生支援協議会」への訪問による情報交換。 ・該当案件発生時には、案件持ち込み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の相談案件に対する事後フォローの実施と、継続的な案件相談の持ち込み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)にいがた産業創造機構(新潟県中小企業再生支援協議会)と情報交換を実施。 		
(6)中小企業再生支援協議会への協力とその機能の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・「新潟県中小企業再生支援協議会」と情報交換を図る。 ・「新潟県中小企業再生支援協議会」の相談、助言の機能の活用については営業店への周知により利用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新潟県中小企業再生支援協議会」との情報交換会への出席。 ・「新潟県中小企業再生支援協議会」に關しての情報を営業店へ周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新潟県中小企業再生支援協議会」との情報交換会への出席。 ・「新潟県中小企業再生支援協議会」に關しての情報を営業店へ周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)にいがた産業創造機構(新潟県中小企業再生支援協議会)と情報交換を実施。 ・関東信用金庫協会主催のフォローアップ研修会に出席。 ・新潟県中小企業再生支援協議会を営業店及び長岡しんきん業種別景況調査先に紹介。 		
4. 新しい中小企業金融への取組みの強化						
(1)ローンレビューの徹底、財務制限条項やスコアリングモデルの活用等。第三者保証の利用のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・目利き能力を高めるための外部講師による集合研修を実施する。 ・大口与信先・大口保全不足先・要管理先・破綻懸念先については、定期的な評価見直しを実施する。 ・一定以上の信用格付付与先に無担保、第三者保証不要の融資商品の開発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による集合研修の実施。 ・大口与信先・大口保全不足先・要管理先・破綻懸念先の定期的な評価見直し。 ・無担保、第三者保証不要の融資商品の開発に着手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大口与信先・大口保全不足先・要管理先・破綻懸念先の定期的な評価見直し。 ・無担保、第三者保証不要の融資商品の発売。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無担保融資商品「V500」「V2000」を発売。 ・「キャッシュフローと管理・経営」研修会を開催。 ・新潟県信用保証協会との提携融資(無担保かつ審査期間の短縮化)を協議。 ・大口取引先、大口保全不足先、要管理先、破綻懸念先についてヒアリングを実施。 ・第三者保証が過度にならないよう融資トレーニー研修で周知徹底。 ・無担保、第三者保証不要の融資商品(新潟県信用保証協会提携融資)の開発に着手。 ・改定版「V2000」の開発に着手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂版「V2000」を発売。 ・無担保、第三者保証不要の「長岡しんきんクイックローン」(新潟県信用保証協会提携融資)を発売。 	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月 ~ 16 年 9 月	16 年 4 月 ~ 16 年 9 月	
(3)証券化等の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 証券化導入の勉強会を実施する。 売掛債権担保融資の取組みの強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 信金中央金庫から講師を招き証券化のための勉強会実施。 売掛債権担保融資の取組強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 売掛債権担保融資の取組強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県信用保証協会から講師を招き売掛債権担保融資研修を実施。 信金中央金庫から講師を招き証券化のための勉強会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県信用保証協会から講師を招き売掛債権担保融資研修を実施。 	
(4)財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する融資プログラムの整備	<ul style="list-style-type: none"> 企業信用格付の整備を行い、企業信用水準の実態把握を行う。 金利優遇・無担保融資を発売する。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業信用格付の整備を行い、企業信用水準の実態把握を行う。 金利優遇・無担保融資制度の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 金利優遇・無担保融資の発売。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業信用格付の整備を行い、企業信用水準の実態を把握。 企業信用格付に基づく貸出金基準金利表を作成。 財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する金利優遇融資商品の改定版「V2000」の開発に着手。 	<ul style="list-style-type: none"> 財務諸表の精度が相対的に高い中小企業に対する金利優遇融資商品の改定版「V2000」を発売。 	
(5)信用リスクデータベースの整備・充実及びその活用	<ul style="list-style-type: none"> 平成 14 年 11 月に S S C の企業信用格付システム利用による企業信用格付を導入、現在法人取引先について企業信用格付に取組中であるが、信用格付対象先の拡大を図る。 企業信用格付による格付別基準金利を策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 15 年 9 月中に法人取引先の企業信用格付に基づいた格付別基準金利の策定。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 16 年度稼働予定の S I S の共同データベースのシステム利用検討。 企業信用格付対象先の拡大予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業信用格付を実施。 企業信用格付に基づいた「格付別基準金利表」を制定。 個人事業主信用格付システム説明会に出席。 企業信用格付対象先を拡大。 企業信用格付システム説明会（実績デフォルト率等機能追加）に出席。 	<ul style="list-style-type: none"> S S C の実績デフォルト率算出システムを稼働。 信金中央金庫の S D B（信用金庫業界信用リスクデータベース）に参加。 	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月 ~ 16 年 9 月	16 年 4 月 ~ 16 年 9 月	
5. 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化						
(1) 銀行法等に義務付けられた、貸付契約、保証契約の内容等重要事項に関する債務者への説明態勢の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・庫内規則等を作成する。 ・マニュアルを作成する。 ・職員に対する研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項の債務者への説明についての現状把握。 ・庫内規則等の作成着手。 ・マニュアルの作成着手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・庫内規則等の制定。 ・マニュアルの制定。 ・職員に対する研修。 ・実施状況のフォローアップ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項の債務者への説明についての現状を把握。 ・「リレーションシップバンキング アクションプログラムの対応について」を発信。 ・「与信取引説明規定」、「保証契約事務取扱要領」の制定。 ・「与信取引説明規定」、「保証契約事務取扱要領」の説明会開催。 ・「融資経験確認書について」、「契約書の写し交付について」、「用語のご説明について」の内部通達を発信。 ・「リスク管理と対応策」に「説明マニュアル」を追加。 ・関東信用金庫協会主催の「融資に関する顧客への説明責任（義務）」の説明会に出席。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「与信取引説明規定」を改正。 ・「与信取引説明規定」のフォローアップ研修を実施。 	
(2) 「地域金融円滑化会議」の設置・開催	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤役員会、部長会議へ報告。本部関係部において事例及び関連情報を分析、検討し、業務に反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域金融円滑化会議」開催後具体的な取組策の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域金融円滑化会議」開催後具体的な取組策の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域金融円滑化会議」に出席し、会議内容を常勤理事会及び部長会議に報告。 ・「リレーションシップバンキング アクションプログラムの対応について」を発信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域金融円滑化会議」に出席。 	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月～16 年 9 月	16 年 4 月～16 年 9 月	
(3)相談・苦情処理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・各部店ごとの「苦情発生・処理事務取扱要領」「営業店苦情対応マニュアル」の研修会を実施する。 ・全国信用金庫協会等の研修会等へ積極的に出席する。 ・常勤役員、部長へ報告。各部の関連事案の対応、処理、分析により業務へ反映させる。 ・部店長会議で事例の対応、処理状況、分析状況を報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「苦情発生・処理事務取扱要領」「営業店苦情対応マニュアル」の研修。 ・全国信用金庫協会等の研修会等への出席。 ・事例の分析と業務への反映。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例の分析と業務への反映。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「苦情・相談等発生処理状況」を取りまとめ部長会議及び部店長会議で報告。 ・苦情・相談等事例を分析し業務に反映。 ・外部講師による「窓口トラブル防止」のテラー研修を実施。 ・「苦情発生・処理事務取扱要領」「営業店苦情対応マニュアル」の研修会の実施。 ・部長会議で「店別・月別苦情・相談等発生件数状況表」を報告。 ・支店長会議で事例の対応、処理状況、分析を報告。 ・関東信用金庫協会主催の「コンプライアンス担当者並びに苦情相談担当者勉強会」出席。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成 15 年店別・月別苦情・相談等発生件数状況表」(16 年 3 月末現在)を作成。 ・部長会議において「平成 15 年店別・月別苦情・相談等発生件数状況表」を報告。 ・支店長会議(毎月)での事例の対応、処理状況、分析状況を報告。 	
6.進捗状況の公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにおいて、体制整備状況や進捗状況を公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 15 年上期分を 11 月にディスクロージャー誌及びホームページにおいて公表。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 15 年下期分を 8 月に、平成 16 年上期分を 11 月にディスクロージャー誌及びホームページにおいて公表。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「機能強化計画の要約」をホームページで公表。 ・「機能強化計画の進捗状況」(平成 15 年 4 月～9 月)をミニ・ディスクロージャー誌及びホームページに公表。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「機能強化計画の要約」をホームページで公表。 ・「機能強化計画の進捗状況」(平成 15 年 10～平成 16 年 3 月)をディスクロージャー誌及びホームページに公表。 	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月 ~ 16 年 9 月	16 年 4 月 ~ 16 年 9 月	
・各金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み						
1. 資産査定、信用リスク管理の強化						
(1) 適切な自己査定及び償却・引当の実施	・金融検査マニュアル別冊「中小企業融資編」、事務ガイドラインの改訂を反映した、自己査定規定を見直しする。 ・自己査定の厳正化を図るための庫内研修を実施する。	・自己査定規定の見直し。 ・自己査定の厳正化を図るための庫内研修実施。	・自己査定規定の見直し。 ・自己査定の厳正化を図るための庫内研修実施。	・事務ガイドラインの改訂を反映した「自己査定規定」の見直し。 ・新日本監査法人主催の「リレバンセミナー」に出席。 ・自己査定の厳正化を図るための研修を実施。	・貸倒引当金予想損失率算出システムを策定。 ・自己査定規定等の見直し。	
(1) 担保評価方法の合理性、処分実績からみた評価精度に係る厳正な検証	・本部と支店が連携し、不動産売買事例の収集を行い、過去2年間の直近データを蓄積・分析し担保評価額と処分実績額の乖離幅を検証して、掛目の妥当性を検討する。	・処分実績データの蓄積。 ・担保評価額と処分実績の乖離幅を検証し、掛目の妥当性を確認。	・処分実績データの蓄積。 ・担保評価額と処分実績の乖離幅を検証し、掛目の妥当性を確認。	・処分実績データを蓄積。 ・担保評価額と処分実績の乖離幅を検証し、掛目の妥当性を確認。 ・「担保評価基準取扱要領」の一部を改正。	・処分実績データを蓄積。 ・担保評価額と処分実績の乖離幅を検証し、掛目の妥当性を確認。	
(1) 金融再生法開示債権の保全状況の開示	・引き続きディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌及びホームページで開示する。	・ディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌及びホームページで開示。	・ディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌及びホームページで開示。	・ディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌及びホームページで金融再生法開示債権の保全状況を開示。	・ディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌、ホームページで金融再生法開示債権の保全状況を開示。	
2. 収益管理態勢の整備と収益力の向上						
(2) 信用リスクデータの蓄積、債務者区分と整合的な内部格付制度の構築、金利設定のための内部基準の整備等	・信用格付対象先を拡充する。 ・企業信用格付を基に適正貸出金利の策定を目的とした基準金利を策定する。	・法人取引先の企業信用格付に基づいた格付別基準金利の策定。	・平成 16 年度稼動予定の S I S の共同データベースのシステム利用検討。 ・企業信用格付対象先の拡大予定。 ・基準金利の見直し。	・「企業信用格付」説明会を開催。 ・企業信用格付を実施。 ・企業信用格付に基づいた「格付別基準金利表」を制定。 ・企業信用格付と債務者区分の整合性を確認。 ・企業信用格付先の格付別基準金利と実績金利の整合性を確認。	・企業信用格付と債務者区分の整合性を確認。 ・企業信用格付先の格付別基準金利と実績金利の整合性を確認。 ・S S C の実績デフォルト率算出システムを稼動。 ・信金中央金庫の S D B (信用金庫業界信用リスクデータベース) に参加。	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月 ~ 16 年 9 月	16 年 4 月 ~ 16 年 9 月	
3. ガバナンスの強化						
(2) 半期開示の実施	・引き続きミニ・ディスクロージャー誌及びホームページで開示する。	・ミニ・ディスクロージャー誌及びホームページで開示。	・ミニ・ディスクロージャー誌及びホームページで開示。	・「長岡信用金庫の現況」(半期開示)を発行。 ・半期開示をホームページで公表。		
(2) 総代の選考基準や選考手続きの透明化、会員・組合員の意見を反映させる仕組み等の整備	・総代の選考基準を定める。 ・全国信用金庫協会での検討結果を踏まえ、総代会の仕組み、総代の役割、総代選考基準や選考方法等ディスクロージャー誌に掲載する項目を検討する。 ・全国信用金庫協会が情報開示の任意項目として定めた事項のうち、総代氏名のディスクロージャー誌への掲載については、総代の意見を踏まえて導入するかどうかを検討する。 ・全国信用金庫協会が任意項目として定めた事項のうち、総代の定年制や重任制限等については、上記情報開示による効果を検証しつつ、会員や総代の意見を踏まえて導入するかどうかを検討する。	・全国信用金庫協会がとりまとめた情報開示の必須事項をもとに、当金庫としての総代会機能向上策を全般的に検討。 ・総代の氏名等任意項目となっている事項の掲載については、総代を対象にヒアリングしたうえで確定。 ・平成 15 年度決算にかかるディスクロージャー誌への掲載方法を検討、確定。 ・総代選考基準を定める。	・ディスクロージャー誌の作成。 ・ディスクロージャー誌に関するアンケートもしくはヒアリングを実施し、協同組織運営、総代会制度等に対する理解状況を把握。	・ディスクロージャー誌への掲載する項目を検討。 ・「総代選考基準」を制定。 ・アンケート調査を実施。	・ディスクロージャー誌、ホームページに総代制度、選任方法、選任手続き、総代会決議事項、総代氏名を掲載。	

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進 捗 状 況		備 考
		平成 15 年度	平成 16 年度	15 年 4 月 ~ 16 年 9 月	16 年 4 月 ~ 16 年 9 月	
(2) 中央機関が充実を図る個別金融機関に対する経営モニタリング機能等の活用方針	・ A L M委員会において、信金中央金庫分析決算データ及び A L M支援システムの活用を検討する。	・信金中央金庫分析決算データの活用検討。 ・信金中央金庫 A L M支援システムの活用検討。	・信金中央金庫分析決算データの活用。 ・信金中央金庫 A L M支援システムの活用。	・ A L M委員会において信金中央金庫提供資料に基づき経営効率分析を実施。 ・信金中央金庫の A L M支援システムにより、金利リスク、市場リスクを算出。収益シミュレーションを実施。	・信金中央金庫の新 A L M支援システムにより金利リスク、市場リスクの算出。 ・収益シミュレーションの実施。 ・ A L M委員会において、信金中央金庫提供資料に基づき経営効率分析を実施。	
4. 地域貢献に関する情報開示等						
(1) 地域貢献に関する情報開示	・全国信用金庫協会から示された開示方針を踏まえて、開示項目を検討する。 ・ディスクロージャーとしては、ディスクロージャー誌のほか、ホームページを活用する。	・開示項目の検討。 ・ディスクロージャー誌、ホームページによる地域貢献活動の公表。	・ディスクロージャー誌、ホームページによる地域貢献活動の公表。	・「平成 15 年版長岡信用金庫の現況～信用金庫と地域社会～」を発行。 ・「平成 15 年版長岡信用金庫の現況～信用金庫と地域社会～」をホームページで公表。	・ディスクロージャー誌に地域貢献活動を掲載。 ・ホームページに地域貢献活動を掲載。	

(備考)別紙様式1による個別項目の頁回数・・・28

・ 中小企業金融の再生に向けた取組み

2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

(3) 要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止のための体制整備強化並びに実績公表

<p>具体的な取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営支援業務取扱要領を策定する。 ・ 経営支援チームを融資部内に設置する。 ・ 経営支援担当者は支店と十分連携し、経営改善の可能性のある債務者企業の選定、経営課題の把握、経営改善計画の策定、経営課題を解決する手法、時間軸等を整理して取組む。 ・ 大口与信先を中心に定期的に業況ヒアリングを実施し、より精度の高い業況把握に努める。 ・ 業界団体が実施予定の研修プログラムに積極的に参加する。 ・ ディスクロージャー誌等において、体制整備状況や経営改善支援取組み先数、経営改善による債務者区分のランクアップ先数等について公表する。 				
<p>スケジュール</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="309 655 436 874" style="text-align: center; vertical-align: middle;">15年度</td> <td data-bbox="436 655 2085 874"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営支援業務取扱要領の策定、施行。 ・ 経営支援担当者の任命。 ・ 業界主催の集合研修等へ参加。 ・ 経営改善の可能性のある債務者企業の選定、経営課題の把握、経営改善計画の策定、経営課題を解決する手法、時間軸等を整理して取組む。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="309 874 436 1129" style="text-align: center; vertical-align: middle;">16年度</td> <td data-bbox="436 874 2085 1129"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援方策の実施状況の適切なフォロー。 ・ 業界主催の集合研修等へ参加。 ・ 経営改善の可能性のある債務者企業の追加選定や具体的経営改善支援先の拡大。 ・ 前年度の取組み実績の検証及びそれを踏まえた効果的施策の検討。 ・ 平成15年度実績等を16年8月にディスクロージャー誌等で公表。 </td> </tr> </table>	15年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営支援業務取扱要領の策定、施行。 ・ 経営支援担当者の任命。 ・ 業界主催の集合研修等へ参加。 ・ 経営改善の可能性のある債務者企業の選定、経営課題の把握、経営改善計画の策定、経営課題を解決する手法、時間軸等を整理して取組む。 	16年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援方策の実施状況の適切なフォロー。 ・ 業界主催の集合研修等へ参加。 ・ 経営改善の可能性のある債務者企業の追加選定や具体的経営改善支援先の拡大。 ・ 前年度の取組み実績の検証及びそれを踏まえた効果的施策の検討。 ・ 平成15年度実績等を16年8月にディスクロージャー誌等で公表。
15年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営支援業務取扱要領の策定、施行。 ・ 経営支援担当者の任命。 ・ 業界主催の集合研修等へ参加。 ・ 経営改善の可能性のある債務者企業の選定、経営課題の把握、経営改善計画の策定、経営課題を解決する手法、時間軸等を整理して取組む。 				
16年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援方策の実施状況の適切なフォロー。 ・ 業界主催の集合研修等へ参加。 ・ 経営改善の可能性のある債務者企業の追加選定や具体的経営改善支援先の拡大。 ・ 前年度の取組み実績の検証及びそれを踏まえた効果的施策の検討。 ・ 平成15年度実績等を16年8月にディスクロージャー誌等で公表。 				
<p>備 考</p>					

進 捗 状 況	<p>(1) 経営改善支援に関する体制整備の状況（経営改善支援の担当部署を含む）</p> <p>15年4月～16年9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・融資部に経営支援チームを設置。（4名） ・「経営支援業務取扱要領」を制定。 ・「大口与信先に対する取組方針」を制定。 ・「経営改善計画書シミュレーションシステム」をバージョンアップ。 ・信金中央金庫主催の「企業再生支援講座」研修に参加。 ・全国信用金庫協会主催の「企業再生支援講座」研修に参加。 ・全国信用金庫協会主催の「中小企業経営改善支援実務」研修に参加。 ・関東信用金庫協会主催のフォローアップ研修会に参加。 ・新潟県信用金庫協会主催の集合研修に参加。 ・「経営改善計画書シミュレーションシステム」研修会を実施。 ・平成15年度の経営支援取組先を選定。 ・経営改善計画書を作成支援。 ・経営改善計画書の進捗状況を検証。 ・大口与信先の資金繰り表、試算表、受注状況等のモニタリングを実施。
	<p>16年4月～16年9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援チームを1名増員。 ・全国信用金庫協会発行の「実践中小企業支援マニュアル」を営業店に配布。 ・平成16年度の経営改善取組先を選定。 ・全国信用金庫協会主催の「企業再生支援講座」研修に参加。 ・平成15年度の実績等をディスクロージャー誌、ホームページで公表。 ・「経営改善計画書シミュレーションシステム」研修会を実施。

	<p>(2) 経営改善支援の 取り組み状況</p> <p>15年4月～16年9月</p>	<p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域社会繁栄への奉仕」との経営ビジョンのもと、取引先の経営改善を積極的に支援するとともに当金庫の貸出債権の健全化を図る。 <p>取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営支援取組先を選定。 ・経営改善計画書を作成支援。 ・経営改善計画書の進捗状況を検証。 ・大口与信先の資金繰り表、試算表、受注状況等のモニタリングを実施。 <p>支援先の改善内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度は、19先のランクアップが実現。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用金庫の更なるスキルの向上。 ・取引先、信用金庫が一体となった経営改善への取組みの実施。
	<p>16年4月～16年9月</p>	<p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域社会繁栄への奉仕」との経営ビジョンのもと、取引先の経営改善を積極的に支援するとともに当金庫の貸出債権の健全化を図る。 <p>取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営支援取組先を選定。 ・経営改善計画書を作成支援。 ・経営改善計画書の進捗状況を検証。 ・大口与信先の資金繰り表、試算表、受注状況等のモニタリングを実施。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信用金庫の更なるスキルの向上。 ・取引先、信用金庫が一体となった経営改善への取組みの実施。